

金沢商工会議所
最近の景況・業況の動向についてのアンケート調査

当所では、管内の景気動向を把握するため、議員・評議員企業に対し、四半期毎に標記アンケートを行っております。つきましては、ご多忙の折、誠に恐縮とは存じますが、当調査にご協力を賜り、来る9月7日(木)までにメールまたはFAXで返送頂きますようお願い申し上げます。
なお、調査票は、FAXとメールを併用し、ご案内しておりますので、ご確認ください。

貴社名: _____

※本調査における「前期」、「今期」、「来期」は以下の期間を指しますので、ご注意ください。

- ・前期＝令和5年度第1四半期(令和5年4月～6月)
- ・今期＝令和5年度第2四半期(令和5年7月～9月、但し9月は見込み)
- ・来期＝令和5年度第3四半期(令和5年10月～12月)

業種 貴社の主たる業種について、1つお選び下さい。

1. 製造業 2. 建設業 3. 小売業 4. 卸売業 5. サービス業

景況・業況の動向	I. 今期(第2四半期)の状況 前期(第1四半期)と比べた 今期(第2四半期)の状況			II. 来期(第3四半期)の見通し 今期(第2四半期)と比べた 来期(第3四半期)の見通し		
	1. 景況感	1. 好転	2. 不変	3. 悪化	1. 好転	2. 不変
2. 売上高	1. 増加	2. 不変	3. 減少	1. 増加	2. 不変	3. 減少
3. 売上単価	1. 上昇	2. 不変	3. 低下	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
4. 資金繰り	1. 好転	2. 不変	3. 悪化	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
5. 採算性(経常利益)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化	1. 好転	2. 不変	3. 悪化

景況感(今期)の選択理由をご記入下さい。

景況感(来期)の選択理由をご記入下さい。

経営上の問題点 今期(第2四半期)、直面している問題点についてお選び下さい。(複数回答可)

1. 大企業の進出や過当競争による競争の激化 2. 仕入単価の上昇
3. 経費の増加 4. 販売単価の低下・上昇難
5. エネルギーコストの増加 6. 原材料の高騰
7. 需要の停滞、売上の減少 8. 従業員の確保難
9. 後継者の育成・確保 10. その他()

問題点や対応策を具体的に記入下さい。

雇用情勢 現在の雇用状態について、1つお選び下さい。

1. 過剰状態 2. 適正水準 3. 不足状態

具体的な状況・対応策をご記入下さい。

設備投資関係の動向

今年度の前半(令和5年4月～9月の6ヶ月)と後半(令和5年10月～令和6年3月の6ヶ月)の設備投資の動向をご回答下さい。


問1. 今年度前半の設備投資	前半の内容	投資内容 (実施・計画の数字に○印)	後半の内容	問2. 今年度後半の設備投資
1. 実施した	1	土地	1	1. 計画している
2. 実施していない	2	店舗	2	2. 計画していない
	3	倉庫	3	
	4	車輛・運搬具	4	
8. その他の内容記入欄	5	付帯設備	5	8. その他の内容記入欄
	6	OA機器	6	
	7	福利厚生施設	7	
	8	その他	8	

物流の2024年問題

「物流の2024年問題」等による物流の停滞が懸念される中、荷主企業も含めた物流全体の効率化が不可欠となっています。

物流の2024年問題・・・来年の4月からトラックドライバー等に対して時間外労働時間の上限規制が適用されることで、さらなる人手不足によって物流が停滞し、「モノが運べない・届かない」など、幅広い業種の企業活動に影響が懸念される事態。政府会合では、このまま何も対策を打たなければ、輸送能力が2024年に約14%、2030年度には約34%不足すると推計されています。

問1. この問題に対し、持続可能な物流の実現に向けた取り組みの状況について、1つお選び下さい。

- 何らかの取り組みを開始している
 - 今後、何らかの取り組みを行う予定
 - 問題を認識しているが、何をすればいいのかわからない
 - 問題を認識しているが、取り組む必要がない(取り組めない)
 - 問題を認識していなかった(このアンケート調査で認識した)
 - その他()
- 物流の2024年問題 特設ページ 
- (公社)全日本トラック協会HP

問2. この問題に対処するために必要だと考えられる内容をお選び下さい。(複数回答可)

- 荷待ち・荷役時間の削減
- 納品リードタイムの延長
- 共同配送の実施
- 適切な物流コストの収受・価格転嫁
- 「送料無料」表記の是非
- 取引先・消費者の理解
- 高速道路区間でトラックの制限速度緩和
- 物流効率化に向けた設備投資を促す補助・税制
- 市街地等での共同集荷・荷捌き場の整備
- 鉄道・船舶の利用(モーダルシフト、モーダルコンビネーション)
- 自動運転・ドローン等の「物流DX」の推進
- その他()

最低賃金の引き上げ

県内の最低賃金が891円から過去最高の42円増で、初の900円台となる933円が答申され、全国平均は初の1000円を超えました。

問1. 最低賃金が933円に引き上げられた場合の負担感について、1つお選び下さい。

- 大いに負担になる
- 多少は負担になる
- 負担にならない
- その他() (負担となる額: 円以上)

問2. 賃上げを含め、働く人にとって魅力ある職場に必要なと思われる項目をお選び下さい。(複数回答可)

- 賃上げの実施、募集賃金の引上げ
- 福利厚生の充実、新たな手当の創設
- 研修制度の充実、資格取得への支援
- ワークライフバランスの推進(子育て支援等)
- 柔軟な働き方の推進(テレワーク等)
- 柔軟な労働時間の設定(フレックス、時短等)
- オフィス・工場等、職場の環境整備
- IT化・設備投資による効率化・自動化
- 休暇制度の充実(特別休暇、長期休暇等)
- 懇親・親睦行事、サークル活動の実施
- 副業・兼業の許可
- その他()

■物流の2024年問題や最低賃金等の雇用関係、また、国内外の景気に関するご意見をお聞かせ下さい。
